



<里山再生アクションプラン>

～清流と木の子が育む鮭川村里山再生プロジェクト～

<令和6年度 事業目的>

鮭川村

さまざまな事業を通じ、地域の森林・自然環境にふれ合ってもらい、森林の大切さや里山の保全活動へ繋げる。

猿鼻街道周辺の里山林等環境保全事業



7月25日の豪雨災害により猿鼻街道が被災したため、当初保全活動を4回、活動後のトレッキングを1回予定していたが、保全活動1回のみの実施となってしまった。復旧の見通しもまだなく、次年度については他の補助事業を活用し、猿鼻街道保存会の方々と情報共有しながら、復旧に向け検討していく。

鮭川村木育推進事業



幼少期から木に親しんでもらうため、離乳食教室の際に県産木材を使用した積み木兼パズルを贈呈した。また、親世代には森林の大切さについて考えてもらうきっかけとなるよう、PRカードを渡して事業趣旨を説明した。贈呈後、早速親子で遊ぶ姿が見られた。

<活動成果・感想及び今後の展開>

令和4年度より新たな取組として、乳幼児へ県産木材を使用した積み木兼パズルをプレゼントする事業を行い、今年度も好評であったため次年度も継続したい。猿鼻街道保全事業に関しては、7月の豪雨により被災したため、予定していた保全活動・トレッキングについては中止せざるを得なかった。保全会の地区住民からも何とか復旧をめざしたいとの声もあるため、復旧に向けて次年度以降検討していく。